

アクティブライフ共創コンソーシアム

スポーツ・健康・ウェルフェア分野における学際共創拠点
～社会実装／事業化に向けた産学官地連携プロジェクトの推進～

東京大学スポーツ先端科学連携研究機構
立命館大学スポーツ健康科学総合研究所

2022年12月12日

背景・趣旨

<少子高齢化時代をアクティブに>

世界に先駆け**少子高齢化**が進展する日本において、**持続可能性のある社会**の構築が求められている。2060年には、現状よりさらに高齢化が進み、大幅な人口減と生産年齢人口の減少が予想される。高齢者の社会的な位置づけは激変し、個々人が目指す**人生の豊かさや幸せの実現**のみならず、**高い生産性と活力ある社会**を実現することが重要である。

この実現にあたっては「**健康寿命**」の延伸が極めて重要な課題となる。日本の平均寿命の長さは世界トップクラスであるが、「健康寿命」との差は10年ほどあり、この差を如何に縮めるかは、非常に大きなテーマとなっている。



東京大学UTSSIや順天堂大学をはじめとする大学や研究機関との**学術連携に基づくスポーツ・健康・ウェルフェア分野の研究コンソーシアム**を設置し、研究成果の社会実装を通じて**アクティブライフを提案**する

社会実装の推進のためのコンソーシアム設置



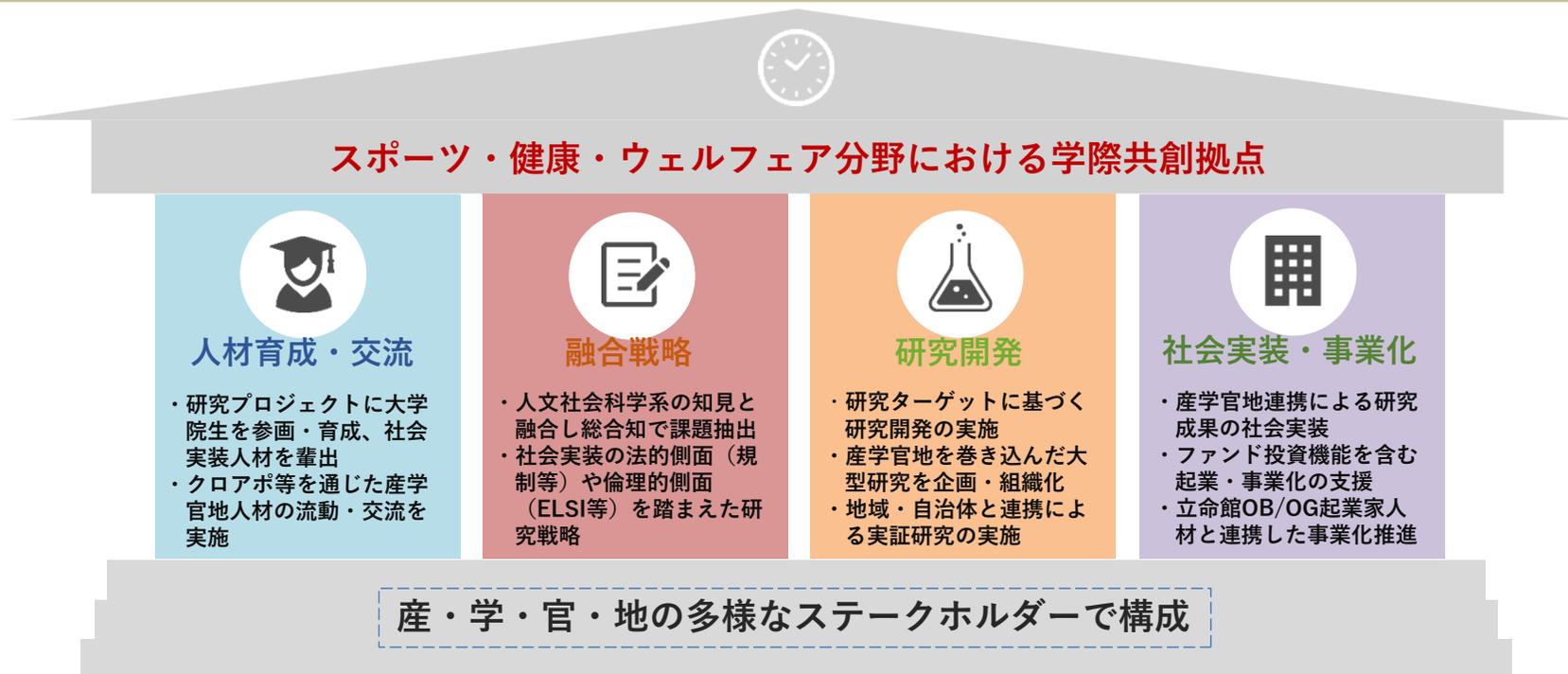
学術・研究機関から創出される研究の成果を具体的な地域をフィールドに実証し、社会実装を行うために、**ステークホルダーのつなぎ手**となる共創・議論の場を東京大学および立命館大学が中心となって構築する。

» 学術・研究機関のみならず産業界から地域自治体・市民にいたる多様なステークホルダーによる**学際共創型コンソーシアム**を組織し、社会にインパクトを起こす。

アクティブライフ共創コンソーシアム設立趣旨

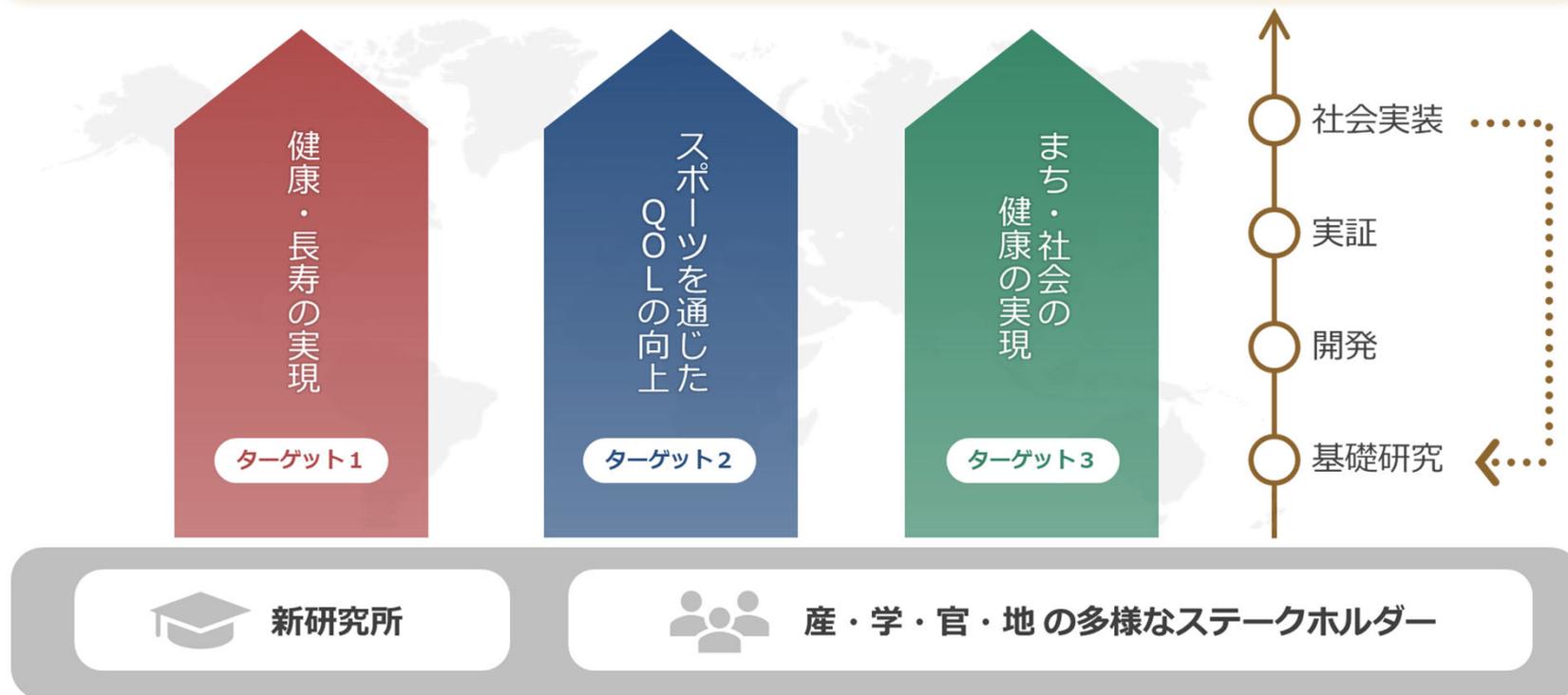
< 設立趣旨 >

スポーツ健康科学総合研究所の掲げる理念「あらゆる人の身体的・精神的・社会的健康の実現に主体的に取り組み、多様性と包摂性に優れ、誰もが健康的な生活を送ることのできる社会の実現」のため、産学官地の多様なステークホルダーが基礎研究から開発・実証、社会実装までを一気通貫で実現する。研究所のターゲットに対応する**学際共創研究プロジェクト**を立ち上げ、**地域課題の解決**を通じた社会実装の実現と担い手となる**社会実装型若手研究者を育成・輩出**する。



コンソーシアムの活動理念および研究ターゲット

あらゆる人の身体的・精神的・社会的健康の実現に主体的に取り組み、
多様性と包摂性に優れ、誰もが健康的な生活を送ることのできる社会を実現



コンソーシアムが目指す未来の社会像

健康・長寿の実現

- ・ 平均寿命と健康寿命の差ネット・**ゼロ**社会の実現
- ・ 生活習慣病発症・重症化**ゼロ**社会の実現
- ・ **ゼロ**次予防による認知症**ゼロ**社会の実現

スポーツを通じたQOLの向上

- ・ スポーツで整える**フィジカル・コンディション**
- ・ スポーツで高める**セルフ・エフィカシー**
- ・ スポーツがつむぐ**他者との共生**

まち・社会の健康の実現

- ・ **ぬくもり**：文化や伝統に根ざした地域コミュニティづくり
- ・ **まじわり**：多世代が交流し、創発し合う場所づくり
- ・ **にぎわい**：人々の活力を生み出す都市づくり



多様性と包摂性に優れ、
誰もが健康的な生活をおくる
ことのできる社会の実現

学際共創研究プロジェクトのテーマ例①

<健康・長寿の実現>

- ・心血管疾患リスク改善のための運動・食事療法の開発
- ・サルコペニア肥満の遺伝リスクと運動・食事介入効果
- ・運動トレーニングによるガン発症予防機序の研究
- ・脳機能亢進に資する骨格筋の量と質に関する研究
- ・スマートウェアによる運動指導システムの開発
- ・スマート技術を用いたからだの健康状態の見える化
- ・個人に最適化された運動・栄養・休養のフィードバックシステム
- ・AI・ビッグデータによる疾病予測、治療・予防、介護の最適化
- ・統合型ヘルスケアシステムの研究開発
- ・データ利活用による健康寿命の延伸

<スポーツを通じたQOLの向上>

- ・アスリートのパフォーマンス向上／スポーツ傷害の予防
- ・スポーツ教育・スポーツ推進によるスポーツ・イン・ライフの実現
- ・PBL型スポーツ教育による自立したジュニアアスリートの育成
- ・スポーツを「する」「みる」「支える」「知る」からの経験価値の創造
- ・fMRI/EEGを用いたこころの神経基盤の解明
- ・生体情報計測によるこころの健康の見える化
- ・個人のヘルスケアデータに応じた食事アドバイスデバイス

学際共創研究プロジェクトのテーマ例②

<スポーツを通じたQOLの向上（続き）>

- ・心理学・生理学・脳科学による感動の可視化
- ・生活空間におけるリスク評価手法の開発
- ・ストレスフリーな診療のためのIoT・ロボティクス
- ・騒音環境の快音化等、生活空間の快適化に関する研究
- ・スポーツを通じたサクセスフル・エイジング（健幸華齢）社会の実現

<まち・社会の健康の実現>

- ・コミュニティ・ベスト・スマートシティの都市モデルの開発
- ・地域の特性やユーザーニーズに応じた多様な移動手段の提供
- ・交通、人流動把握によるスマートシティの実現
- ・人と様々なモビリティが安全に混在可能な空間構築
- ・精神面、社会面でのウェルビーイング向上に関する研究
- ・包摂的コミュニティ・プラットフォームの研究
- ・医療/ヘルスケアデータの個人情報保護等に関するルール整備
- ・倫理的・法的・社会的課題の検討（ELSI）
- ・サードプレイスにおけるスポーツの実装とまちづくり
- ・スポーツを活用したソーシャルイノベーションによる都市デザイン

事業計画

I. 学際共創研究プロジェクトの推進*

産学官地の多様なステークホルダーによる学際共創型の共同研究プロジェクトを立ち上げ、推進する。

*学際共創研究（Transdisciplinary Research; TDR）：
学術以外の参加者と共に科学と実践を同時に進行することで、新たな科学的洞察と実践的な社会的利益の両方を創出することを目指す研究様式を指す。

II. 研究開発および研究成果の社会実装

学際共創型研究プロジェクトを通じて、基礎研究から開発・実証、社会実装までを一気通貫で実現する。

III. 若手研究者・大学院生ならびに社会実装人材の育成・輩出

地域課題の解決を通じた社会実装の実現と担い手となる社会実装型若手研究者を育成・輩出する。

IV. 講演会・セミナー等の開催

内外の実務経験者や研究者による講演会・セミナー、ならびに研究成果の発信に関するシンポジウム等の開催。

2022年度活動予定

2022年度	活動内容(予定)
2022年9月29日	設立総会・記念シンポジウムの開催
2022年12月8日	2022年度第1回講演会・セミナー（オンライン） 講師：立命館大学スポーツ健康科学部教授 真田樹義氏
2023年1月25日	研究交流フォーラム（対面・オンライン） <開催場所：立命館大学東京キャンパス> 第1部：基調講演 「人生100年時代におけるコミュニティのリ・デザイン」 講師：東京大学高齢社会総合研究機構 機構長/未来ビジョン研究センター教授 飯島勝矢氏 第2部：テーマ別意見交換会
2023年3月	2022年度第2回講演会・セミナー（対面・オンライン） <開催場所：千葉県柏市（仮）>
2023年度	活動内容(予定)
2023年5月頃	2023年度定例総会・講演会の開催

会費および優待

< 会費について >

法人会員：100,000円 / 年

※地方自治体など非営利団体、学術機関は会費を免除

※2022年度会費（2023年3月まで）は、50,000円 / 年

コンソーシアム主催の社会人向けリカレントプログラムを今後、拡充予定

< 優待サービス >

- ・ データサイエンティスト育成講座の会員割引（一般330,000円→会員275,000円）
- ・ 立命館アカデミックセンター講座受講料の無償化（1講座1,500円→無料）※上限あり

立命館大学アカデミックセンター

立命館大学 データサイエンティスト育成講座

2022年

#0m	04n01u (水)	#6n	05r20u (金)	#12n	07s01u (水)
#1a	04n08a (水)	#7c	05r27u (金)	#13a	07s08u (水)
#2n	04n15n (水)	#8b	06r03u (金)	#14i	07s15u (水)
#3n	04n22n (水)	#9d	06r10u (金)	#15a	07s22u (水)
#4i	05n06n (水)	#10i	06r17u (金)		
#5n	05n13n (水)	#11a	06r24u (金)		

申込期間: 10/30~10/31 (Web受付)

申込料: 一般 330,000円 (税込) / 法人 100,000円 (税込) / 学生 50,000円 (税込)

申込先: yao-arist.ritsumei.ac.jp

受付中

11/5 (土) 10:00~11:30

SDGsを考える 建築から考える省エネルギーと快適性

李明香 立命館大学 理工学部教授

2022年11月5日 (土) 10:00~11:30

【SDGsを考える】建築から考える省エネルギーと快適性 ★見逃し配信あり

受付中

11/9 (水) 19:00~20:30

SDGsを考える いい夫婦になるためのヒント

三田村 仰 立命館大学 総合心理学部教授

2022年11月9日 (水) 19:00~20:30

【SDGsを考える】いい夫婦になるためのヒント-日本版カップルセラピー開発への挑戦 ★見逃し配信あり

受付中

メディアとしての浮世絵 浮世絵の上に描かれてきたもの

赤間 亮 田辺 昌子 日野原 健司

2022年 10月24日(月)・11月19日(土)・12月17日(土)・2023年 1月14日(土)・2月4日(土)・3月26日(日)

メディアとしての浮世絵 -浮世絵の上に描かれてきたもの(全6回) ★見逃し配信あり

立命館大学アカデミックセンター
<http://www.ritsumei.ac.jp/acr/>

ご参画のメリット

1. 産学官地の垣根を「こえる」学際共創プラットフォームの活用
2. 将来有望な若手研究者・大学院生と「つながる」機会の増大
3. 大学・研究機関の「最先端」研究施設・実験設備の活用
4. 社会実装プロジェクトによる「ビジネス」チャンス拡大